

2012(平成24)年度事業計画の概要

大学全入時代を迎え、高等教育機関をとりまく競争環境は一層激しさを増している。また、社会構造の変化や価値観の多様化が進む中、高等教育機関が果たすべき役割は高度化している。このような環境の中、学校法人龍谷大学は、「龍谷大学」及び「龍谷大学短期大学部」が展開する「教育」、「研究」、「社会貢献」等の活動を通して、社会の要請に応える人材の養成に努めるとともに、学術文化の振興や科学技術の進展に寄与していかなければならない。

龍谷大学及び龍谷大学短期大学部では、1975年から長期的な計画に基づき、新たな社会的要請を踏まえながら大学運営を行っており、これまで4次にわたる長期計画を策定し、それぞれの時代に応じた大学創造に取り組んできた。2010年度からは「第5次長期計画」を策定し、2020年の龍谷大学像を明確に示した大学運営をおこなっており、その実現のため2012年度においては、主に次のような事業を計画し、積極的に諸事業を推進する。

2012年度は、「第5次長期計画」における第1期中期計画が折り返す年度であり、重点課題として位置付けている「国際文化学部の深草キャンパス移転」及び「瀬田キャンパスにおける新学部の設置」について、具体的な実施案に基づき、設置計画を取りまとめることとする。また、新たな教学展開として、文学部に臨床心理学科を、文学研究科に臨床心理学専攻をそれぞれ開設し、文学部及び文学研究科で長年に渡って積み重ねてきた「臨床心理学」分野の実績を発展させた教学を実施する。その他にも、学内各部局において検討・実施が進められているアクションプランについて、具体的な成果の創出や検証を行い、第1期中期計画の後半期に向けた準備を開始する。

また、本学の教育のさらなる充実を図るにあたって、2012年度には、学生への個性的で充実した教育を実施するという観点から、全学共通の取組「入学準備サポートプロ

グラム」を試行的に実施し、本学への帰属意識や適応度、学習意欲の向上といった態度形成を図り、教育力の向上をめざす。さらに、検討を進めている「教養教育センター(仮称)の設置」、「教養教育カリキュラムの再編」については、教養教育の組織運営体制の強化に向けた新たな運営体制を整備し、全学的な検討を進めていく。加えて、本学の学生が共通して備える素養や能力を「龍谷スタンダード」として形成すべく、学生の主体性や自律性を評価する制度のあり方について具体的な実施体制を構築し、引き続き検討を進めていく。

「第5次長期計画」では、2020年における龍谷大学の将来像を掲げているが、これらの実現に向けて、本学のブランドポジション及びコンセプトの策定を進めている。2012年度には、新たに策定する“龍谷ブランド”が学内外に浸透するよう、本学構成員が主体となって全学的な浸透活動に取り組み、本学の改革への期待感を社会的にも一層向上させるとともに、イメージの向上を図るための諸事業を展開する。

また、深草キャンパスにおいては、深草学舎新棟が2012年7月に竣工する予定であり、教育環境の充実、キャンパスアメニティの充実に資する施設として、2012年度後期から使用を開始する。さらに、深草キャンパス1号館については、老朽化のため、2012年度後半に解体予定であり、新1号館の整備検討をはじめるとともに、「深草キャンパス施設検討委員会」での検討を踏まえ、将来を展望した施設整備計画を推進する。

2012年度には、これらをはじめとして、各部局が一体となって「第5次長期計画」の推進に向けた諸事業を実施・展開し、龍谷大学及び龍谷大学短期大学部の設置理念の具現化を図ることとする。

